

上場会社名 株式会社王将フードサービス

（コード番号：9936 大証第 1 部）

（URL <http://www.ohsho.co.jp>）

代表者 役職・氏名 代表取締役社長

大東 隆行

TEL：(075) 592-1411（代表）

問合せ先責任者 役職・氏名 専務取締役 経営企画部長

鈴木 和久

1. 四半期財務情報の作成等に係る事項

- ① 会計処理の方法における簡便な方法の採用の有無 : 有
引当金及び税金費用の計上基準等に一部簡便的な方法を採用しております。
- ② 最近連結会計年度からの会計処理の方法の変更の有無 : 無
- ③ 連結及び持分法の適用範囲の異動の有無 : 無

2. 平成 19 年 3 月期第 1 四半期財務・業績の概況（平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 6 月 30 日）

(1) 経営成績(連結)の進捗状況

(注)金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

	売上高		営業利益		経常利益		四半期(当期)純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
19 年 3 月期第 1 四半期	11,558	3.9	1,273	0.7	1,233	4.4	640	20.0
18 年 3 月期第 1 四半期	11,121	8.1	1,264	9.1	1,181	24.1	533	5.9
(参考) 18 年 3 月期	45,791		5,251		5,009		1,372	

	1 株当たり 四半期(当期)純利益		潜在株式調整後 1 株当たり 四半期(当期)純利益	
	円	銭	円	銭
19 年 3 月期第 1 四半期	28.	97	28.	80
18 年 3 月期第 1 四半期	23.	26	23.	19
(参考) 18 年 3 月期	59.	85	59.	62

(注) 売上高、営業利益等におけるパーセント表示は、対前年同四半期増減率を示しております。

〔経営成績（連結）の進捗状況に関する定性的情報等〕

当第 1 四半期におけるわが国経済は、企業収益の改善や民間設備投資の堅調な推移により、緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、原油価格の高騰、金利上昇懸念など先行き不透明感が残り、外食業界におきましても、少子高齢化等による市場規模の縮小やオーバーストア化等により厳しい経営環境が続いており、経営政策の転換を打ち出す企業が現れてくるなど、総じて厳しい状況で推移しました。

このような状況におきましても、当社グループは創業以来の『より美味しく、より安く、そしてスピーディーに』のモットーを堅持することこそ、当業界における生き残りの道であると考え、品質・価格ともに他社に追従を許さない「餃子」をコアメニューとした競争力を軸に、“餃子の王将”事業の一層の活性化を進めてまいりました。

店舗展開の状況につきましては、当期の出店計画に基づき、直営店を関西地区に 1 店、フランチャイズ（以下 F C という）を九州地区に 1 店出店する一方、F C 2 店の閉鎖がありました。これにより期末店舗数は、直営 306 店（うち L S [委託ライセンスシステム] 6 店）、F C 183 店（うち委託 F C 6 店）となりました。また、新規出店と並行して、既存店の改装にも新規出店並みの設備投資を行うなど力を入れ、一店一店地域に密着した繁盛店作りを進めてまいりました。

以上のような事業展開に努めた結果、連結売上高は、前年同期に比べて4億36百万円（3.9%）増加し、115億58百万円となりました。また、直営店の既存店売上高も前年同期に比べて1.6%増加となり、31ヶ月連続で前年同月比プラスを達成いたしました。

営業利益は、エネルギーコストの高騰や既存店改装に伴う減価償却費の増加等がありましたが、前年同期に比べて9百万円（0.7%）増加し、12億73百万円となりました。

経常利益は、有利子負債の圧縮に伴う支払利息の減少等により、前年同期に比べて51百万円（4.4%）増加し、12億33百万円となりました。

四半期純利益は、既存店改装に伴う固定資産除却損の減少等により、前年同期に比べて1億6百万円（20.0%）増加し、6億40百万円となりました。

(2)財政状態（連結）の変動状況

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
19年3月期第1四半期	46,888	19,052	40.6	887.16
18年3月期第1四半期	49,594	20,996	42.3	915.19
(参考) 18年3月期	47,272	22,128	46.8	966.34

〔財政状態（連結）の変動状況に関する定性的情報等〕

当第1四半期末の財政状態につきましては、総資産468億88百万円（前連結会計年度末比3億83百万円減少）、負債の部合計278億36百万円（前連結会計年度末比26億92百万円増加）、純資産（資本）の部合計190億52百万円（前連結会計年度末比30億76百万円減少）となりました。

また、中長期的な資金調達基盤の安定化と効率化を図るため、当社取引銀行によるシンジケート団との間で総額50億円のコミットメントライン契約を締結しております。なお、平成18年6月30日現在、実行残高はありません。

【連結キャッシュ・フローの状況】

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 四半期末(期末)残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
19年3月期第1四半期	1,719	△720	△680	2,941
18年3月期第1四半期	1,574	△1,169	△48	3,277
(参考) 18年3月期	6,289	△2,962	△3,625	2,624

当第1四半期の連結キャッシュ・フローの状況につきましては、現金及び現金同等物の残高は前連結会計年度末に比べ3億17百万円増加し、当第1四半期末には29億41百万円となりました。

当第1四半期における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりです。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果得られた資金は17億19百万円となりました。主な内訳は、税金等調整前四半期純利益11億56百万円に減価償却費4億16百万円及び法人税等の還付2億16百万円等を加えた額から利息の支払額90百万円等を減じた額であります。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果使用した資金は7億20百万円となりました。主な内訳は、新規出店・既存店改装に伴う有形固定資産の取得9億22百万円、投資有価証券の取得1億11百万円等による支出、投資不動産の売却代金の回収3億15百万円等による収入であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は6億80百万円となりました。主な内訳は、自己株式の取得2億766百万円、社債の償還5億20百万円及び配当金の支払5億11百万円等による支出、借入金の純増加2億26百万円及び社債の発行3億91百万円等による収入であります。

3. 平成19年3月期の連結業績予想(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円
中間	23,714	2,680	2,607	1,305
通期	47,672	5,287	5,182	2,597

(参考) 1株当たり予想当期純利益(通期) 120円 98銭

[連結業績予想に関する定性的情報等]

当初(平成18年5月19日決算発表時)の見通しに対して、当第1四半期連結業績は想定した範囲内の実績であるため、達成できるものと見込み、業績予想は変更しておりません。

※ 上記の業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。

以上

1. (要約)四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期末)		前連結会計年度末 (平成18年3月期末)		増 減		前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期末)	
	金 額	構成比	金 額	構成比	金 額	増減率	金 額	構成比
(資産の部)		%		%		%		%
I 流動資産	4,392	9.4	4,872	10.3	△ 479	△ 9.8	4,585	9.2
1. 現金及び預金	3,009		2,705		304		3,359	
2. 売掛金	84		87		△ 2		101	
3. たな卸資産	246		227		18		222	
4. その他の流動資産	1,051		1,851		△ 800		902	
II 固定資産	42,495	90.6	42,399	89.7	96	0.2	45,009	90.8
1. 有形固定資産	34,924	74.4	34,626	73.3	297	0.9	34,379	69.3
2. 無形固定資産	93	0.2	98	0.2	△ 5	△ 5.5	88	0.2
3. 投資その他の資産	7,477	16.0	7,673	16.2	△ 196	△ 2.6	10,541	21.3
資産合計	46,888	100.0	47,272	100.0	△ 383	△ 0.8	49,594	100.0
(負債の部)								
I 流動負債	15,313	32.7	11,231	23.8	4,081	36.3	13,537	27.3
1. 買掛金	1,015		1,125		△ 110		965	
2. 一年内償還予定の社債	1,645		1,565		80		1,465	
3. 短期借入金	4,400		280		4,120		1,200	
4. 一年内返済予定の長期借入金	4,926		5,253		△ 326		6,117	
5. その他の流動負債	3,326		3,007		318		3,790	
II 固定負債	12,522	26.7	13,912	29.4	△ 1,389	△ 10.0	15,060	30.4
1. 社債	3,377		3,577		△ 200		4,172	
2. 長期借入金	6,626		7,693		△ 1,067		8,882	
3. その他の固定負債	2,519		2,641		△ 122		2,005	
負債合計	27,836	59.4	25,143	53.2	2,692	10.7	28,598	57.7
(資本の部)								
I 資本金	-	-	8,166	17.3	-	-	8,166	16.5
II 資本剰余金	-	-	9,027	19.1	-	-	9,027	18.2
III 利益剰余金	-	-	8,793	18.6	-	-	9,447	19.0
IV 土地再評価差額金	-	-	△ 3,910	△ 8.3	-	-	△ 5,403	△ 10.9
V その他有価証券評価差額金	-	-	458	1.0	-	-	107	0.2
VI 為替換算調整勘定	-	-	10	0.0	-	-	0	0.0
VII 自己株式	-	-	△ 416	△ 0.9	-	-	△ 348	△ 0.7
資本合計	-	-	22,128	46.8	-	-	20,996	42.3
負債及び資本合計	-	-	47,272	100.0	-	-	49,594	100.0
(純資産の部)								
I 株主資本	22,871	48.7	-	-	-	-	-	-
1. 資本金	8,166	17.4	-	-	-	-	-	-
2. 資本剰余金	9,027	19.2	-	-	-	-	-	-
3. 利益剰余金	8,861	18.9	-	-	-	-	-	-
4. 自己株式	△ 3,183	△ 6.8	-	-	-	-	-	-
II 評価・換算差額等	△ 3,819	△ 8.1	-	-	-	-	-	-
1. その他有価証券評価差額金	81	0.2	-	-	-	-	-	-
2. 土地再評価差額金	△ 3,910	△ 8.3	-	-	-	-	-	-
3. 為替換算調整勘定	9	0.0	-	-	-	-	-	-
純資産合計	19,052	40.6	-	-	-	-	-	-
負債及び純資産合計	46,888	100.0	-	-	-	-	-	-

2. (要約)四半期連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	当四半期 (平成19年3月期 第1四半期)		前年同四半期 (平成18年3月期 第1四半期)		増 減		(参考) 平成18年3月期	
	金 額	百分比	金 額	百分比	金 額	増減率	金 額	百分比
I 売 上 高	11,558	100.0%	11,121	100.0%	436	3.9%	45,791	100.0%
II 売 上 原 価	3,578	31.0	3,451	31.0	126	3.7	14,082	30.8
売 上 総 利 益	7,980	69.0	7,669	69.0	310	4.0	31,709	69.2
III 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費	6,706	58.0	6,405	57.6	301	4.7	26,457	57.8
営 業 利 益	1,273	11.0	1,264	11.4	9	0.7	5,251	11.4
IV 営 業 外 収 益	67	0.6	61	0.5	5	9.4	274	0.6
V 営 業 外 費 用	107	0.9	143	1.3	△ 36	△ 25.3	516	1.1
経 常 利 益	1,233	10.7	1,181	10.6	51	4.4	5,009	10.9
VI 特 別 利 益	—	—	—	—	—	—	441	1.0
VII 特 別 損 失	77	0.7	136	1.2	△ 59	△ 43.4	1,264	2.8
税金等調整前四半期 (当期)純利益	1,156	10.0	1,045	9.4	110	10.6	4,186	9.1
法 人 税 等	515	4.5	512	4.6	3	0.7	2,813	6.1
四半期(当期)純利益	640	5.5	533	4.8	106	20.0	1,372	3.0

3. (要約)四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

摘要	期別	当四半期	前年同四半期	(参考)
		(平成19年3月期 第1四半期)	(平成18年3月期 第1四半期)	平成18年3月期
		金額	金額	金額
I 営業活動によるキャッシュ・フロー				
税金等調整前四半期(当期)純利益		1,156	1,045	4,186
減価償却費		416	369	1,642
減損損失		—	—	185
事業撤退損		—	—	704
貸倒引当金の増減額		△ 1	2	6
退職給付引当金の増減額		△ 13	4	20
受取利息及び受取配当金		△ 16	△ 7	△ 24
投資有価証券売却益		—	△ 1	△ 199
支払利息		73	107	377
固定資産売却損益		—	9	10
収用補償金		—	—	△ 100
固定資産除却損		77	127	349
たな卸資産の増加額		△ 18	△ 4	△ 10
仕入債務の増減額		△ 110	△ 94	65
未払消費税等の増減額		66	3	△ 53
その他		△ 14	270	343
小計		1,614	1,832	7,505
利息及び配当金の受取額		16	7	24
利息の支払額		△ 90	△ 125	△ 382
法人税等の還付額		216	—	—
法人税等の支払額		△ 38	△ 139	△ 857
営業活動によるキャッシュ・フロー		1,719	1,574	6,289
II 投資活動によるキャッシュ・フロー				
定期預金の減少額		12	2	2
有形固定資産の取得による支出		△ 922	△ 732	△ 2,983
有形固定資産の売却による収入		—	—	30
収用補償金の受取による収入		63	—	70
投資有価証券の取得による支出		△ 111	△ 1,270	△ 1,302
投資有価証券の売却による収入		—	19	248
貸付けによる支出		△ 21	△ 14	△ 111
貸付金の回収による収入		10	10	539
差入保証金の差入による支出		△ 22	△ 31	△ 219
投資不動産の売却による収入		315	845	860
その他		△ 44	1	△ 96
投資活動によるキャッシュ・フロー		△ 720	△ 1,169	△ 2,962
III 財務活動によるキャッシュ・フロー				
短期借入金の純増加額		4,120	1,100	180
長期借入れによる収入		200	800	4,128
長期借入金の返済による支出		△ 1,593	△ 1,636	△ 7,017
社債の発行による収入		391	397	893
社債の償還による支出		△ 520	△ 400	△ 1,395
自己株式の取得による支出		△ 2,766	△ 2	△ 70
配当金の支払額		△ 511	△ 306	△ 344
その他		—	—	0
財務活動によるキャッシュ・フロー		△ 680	△ 48	△ 3,625
IV 現金及び現金同等物に係る換算差額		△ 0	0	0
V 現金及び現金同等物の増減額		317	356	△ 297
VI 現金及び現金同等物の期首残高		2,624	2,921	2,921
VII 現金及び現金同等物の四半期(期末)残高		2,941	3,277	2,624

4. 四半期連結部門別売上高の明細

(単位:百万円)

	当四半期 (平成 19 年 3 月期第 1 四半期)		前年同四半期 (平成 18 年 3 月期第 1 四半期)	
	店舗数	金額	店舗数	金額
中華専門店	店		店	
直営店	303	10,401	290	9,937
フランチャイズ加盟店	183	1,093	184	1,121
小計	486	11,495	474	11,058
その他 (主として直営和食店)	3	63	3	62
合計	489	11,558	477	11,121

(注) 1. 店舗数は第 1 四半期末時点の店舗数です。

2. 中華直営店には、子会社が運営する店舗が当四半期末 2 店舗、前四半期末 5 店舗含まれています。